

読書で思慮深さと自省心を身につけよう

「書き抜き読書ノート」の勧め

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 本を読むことは学力を身につけることに役立つのですか。

A (林明夫。以下省略)役に立ちます。大いに役に立ちます。学力が高い人は本をじっくりよく読みます。学力の低迷している人はあまり本を読みません。

本をじっくり読んで、深くものごとを考える「思慮深さ」や自分自身を振り返る「自省心」が身についている人は学力が高い。

このように私には思えてなりません。

Q なぜ本をじっくり読むとものごとを深く考えるようになり、「思慮深さ」や「自省心」が身につくのですか。

A 小説やエッセイ、論説などいろいろな分野の本がありますが、それらはすべて文字で書かれています。

本を読むというのは、そこに書かれている文字を一語一語自分の頭でこれはどのようなことなのかと読み解く、つまり、うんなるほどと「理解」することにほかなりません。そこに書いてあることがうんなるほどと「理解」されてはじめて、次の文章にすすむことができます。一つ一つの「言葉」の意味をうんなるほどと「理解」して読書は成り立つのです。

「言葉」の力が身につくにはじめて本を読むことができます。本を読むことができるというのは、一つ一つの語句の意味がよくわかり、また、一つ一つの文章の意味がよくわかり、作者の言いたいことがよくわかるという「言葉」の力が皆さんに備わっているからです。

「言葉の力」があまり身につけていない人は、文章を読むこと、本を読むことはとても難しいといえます。

Q 簡単そうに見える英語の本がスラスラ読めないのは、「言葉の力」が不足しているからなのでしょうか。

A 言いにくいですが、その通りだと思います。一つ一つの語句の意味がよくわかり、一つ一つの文章の意味がわかってはじめて、その次の文章にすすむ、本を一冊読み終えることができるのです。英語の本がどんどん読めない、最後まで読み通すことができないというのは、一つ一つの語句の意味があまりよくわからず、一つ一つの文の意味もよくわからない、つまり、英語の「言葉の力」が足りないからだとは私は考えます。本を読むこと、読書で大切なのは、日本語も英語も「言葉の力」です。

このような「言葉の力」が少しずつでも備わってくれば、日本語でも英語や他の言語でも本はス

ラスラ読めるようになります。

本に書かれている一語一語を大切に、一ページ一ページじっくり深く読むことは、「言葉の力」を身につけることにとっても役立ちます。

Q どうしたら読書をすすめるだけの「言葉の力」を身につけることができますか。

A あまり無理をせず、なるべく自分の学年のレベル、学力のレベルに合った本をゆっくり、たくさん読むこと。本を読むのが苦手な人は、パッと開いてラスラ読める本から読書をスタートしましょう。ラスラ読める本をじっくり、たくさん、量を読むことで「言葉の力」が確実に身につきます。

難しめの本が読みたくなったら、勇気を出してちょっと難しめの本や新しい分野の本にも挑戦しましょうね。本を読んでいてどうしてもわからない語句に出会ったら、「辞書」をひき意味を確かめることもよい勉強です。

このようにして、「言葉の力」を身につけて本がラスラ読めると、学校のいろいろな科目の教科書に書いてあることもよくわかるし、学校の先生の授業もよくわかる、また、試験の問題も文字で書かれていますのでどのような問題なのかを読み取ることができます。

じっくり深く読む読書で「言葉の力」を身につけた人は学力が高く、学校の成績もよく、希望校の入試にも合格できると私は考えます。

Q 読書により「思慮深さ」や自らを振り返る力「自省心」が身につくとはどういうことですか。

A じっくり型の読書により「言葉の力」が身につけてきますと、言葉の「定義」つまり意味内容をよく考えるようになりますので、自分は今何をやっているのか、その「意味」がわかってきます。自分を振り返る「言葉」をたくさんもつようになるからです。

「言葉の力」があまりない人は、世の中には様々な考え方や言葉がある、つまり、言葉としてあらわされる様々な考え方、生き方があるということがあまり思い浮かびません。自分や世の中のことを深く考える「思慮深さ」や、自分を振り返る「自省心」は、じっくり型の読書によって積み重ねられる「言葉の力」によるものと私は考えます。

Q 最後に一言どうぞ。

A 本を読んでいてこれぞと思う「言葉」や「考え方」、「文章」に出会ったら、お気に入りのノートを一冊用意なさり「書き抜き読書ノート」と名付け、そのノートにたとえ一言でも、また、一行でもよいですから書き抜くことをお勧めいたします。

「書き抜き読書ノート」を一生の宝物にして下さいね。何回、何十回、何百回、何千回も繰り返して読み直しましょう。自分の気に入ったものですから自分の血や肉、つまり、人格の一部になります。

私の書き抜き読書ノートは、開倫塾のホームページ(www.kairin.co.jp)の中にある「林明夫」のコーナーにあります。私は、毎日一冊ずつ本や雑誌(新聞も)を読み、書き抜くことに挑戦しています。参考までに、是非毎日御覧下さい。

ではがんばって下さい。